



上の写真は夢洲3区の雨水池。昨冬は5000羽を超えるカモがきていた。

今冬、万博のために急速に埋め立てられ狭くなった池に1000羽以上がひしめき合っている。(2021.1.3撮影)

～第4回 夢洲オンライン講演会～

「人と自然が共生する夢洲をどうつくるか」 ～2025 国際博覧会会場と跡地計画を考える～

2005年愛知万博に深く関わったお二人を話題提供者に迎え、2025年の万博開催地に予定されている「夢洲」をどうデザインしていくべきか考えます。

日時：2021年1月20日（水）19時より
閉会は21時00分（予定）

プログラム および 講師

- 19:00 夢洲の自然環境 （公社）大阪自然環境保全協会 夏原 由博会長
- 19:10 「万博会場建設・運営における環境配慮」町田 誠氏（SOWING WORKS 代表）
- 19:40 「工業地帯での環境再生事業と市民活動」傘木 宏夫氏（NPO 地域づくり工房代表）
- 20:15 パネルディスカッション「人と自然が共生する夢洲をどうつくるか」
町田氏、傘木氏、夏原当協会会長 進行役：藤原宣夫当協会理事

参加：100名申込先着順 参加費：無料

申込：入力フォームはQRコードまたはこちら↓

https://zoom.us/webinar/register/WN_WEXIhzWQR_yaIFoYQkk1hQ

※登録をすると視聴用のリンクが登録メールアドレスに送付されます。

主催：（公社）大阪自然環境保全協会

共催：NPO地域づくり工房



この企画は、2020年度「地球環境基金」（独立行政法人環境再生機構）の助成により開催いたします。



～第4回 夢洲オンライン講演会～

「人と自然が共生する夢洲をどうつくるか」

～2025 国際博覧会会場と跡地計画を考える～

話題提供と講師のご紹介

■ 「万博会場建設・運営における環境配慮」

大規模プロジェクトにおける環境保全に係る取り組みの計画と実践について、2005 愛知万博での現実を踏まえ、2025 大阪万博へのメッセージを伝えます



講師：町田 誠（まちだ まこと）氏

1959年東京都生まれ、SOWING WORKS 代表、千葉大学園芸学部非常勤講師、横浜市立大学国際教養学部非常勤講師、日本イベント学会理事。

千葉大学卒業後、建設省入省。公園緑地関係を専門として、本省勤務の他、国営公園などの整備管理に携わる。2000年国際園芸・造園博覧会ジャパンフローラ 2000、2005年日本国際博覧会（愛知万博）、2012年全国都市緑化フェア TOKYO GREEN 2012 のプロモート、会場整備等に従事。さいたま市技監、東京都建設局公園緑地部長、国土交通省公園緑地・景観課長などを歴任し、2018年国土交通省退職。現在は SOWING WORKS 代表として、講演活動のほか、行政、NPO、企業等のコンサルタント、アドバイザー業務に従事。

■ 「工業地帯での環境再生事業と市民活動」

国外における工業地帯などでの大規模な環境再生の事例の中から、イタリアのミラノとラベンナ、ドイツのエムシャーパークなどを紹介します。



講師：傘木 宏夫（かさぎ ひろお）氏

1960年長野県生まれ、NPO地域づくり工房代表理事、長野大学非常勤講師、環境アセスメント学会常務理事、自治体問題研究所理事

大阪教育大学中退後、大阪府保険医協会、(株)関西総合研究所主任研究員、(財)公害地域再生センター（あおぞら財団）研究主任、大阪市立大学非常勤講師などを経て、現在はNPO地域づくり工房・代表理事。

著書：『仕事おこしワークショップ』（自治体問題研究所、2012年）、『大阪発・公園SOS ～私たちのコモンセンス～』（都市文化社、1994年）、

『環境アセス&VRクラウド』（フォーラムエイトパブリッシング、

2015年）、『環境アセスメント学入門』（恒星社厚生閣、2019年）、『都市に自然をとりもどす ～市民参加ですすめる環境再生のまちづくり～』（学芸出版社、2000年）など多数。

■パネルディスカッション進行



藤原 宣夫 (ふじわら のぶお)

(公社) 大阪自然環境保全協会理事

1959年秋田県生まれ。大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授、博士(学術)。(公財)大阪みどりのトラスト協会理事。

千葉大学卒業後、建設省(現国土交通省)入省、国営みちのく杜の湖畔公園工事事務所長、国土技術政策総合研究所緑化生態研究室長、愛知県公園監(出向)などを経て2006年に退職、岐阜県立園芸アカデミー教授を経て、2011年より現職。専門は緑地保全学、

緑化学。著書に『都市に水辺をつくる』(技術書院、1999年)、『最新環境緑化学』(朝倉書店、2007年)など。

■夢洲紹介&パネルディスカッション



夏原 由博 (なつはら よしひろ)

(公社) 大阪自然環境保全協会会長

1956年滋賀県生まれ。名古屋大学大学院環境学研究科教授(理学部兼務)。専門は保全生態学。京都大学大学院修了後、大阪市立環境科学研究所、大阪府立大学、京都大学に勤務後2010年より現職。環境省希少野生動物保存推進員、愛知県環境審議会委員などに従事。著書に「地球環境と保全生態学」(岩波書店)、「いのちの森」(京都大学学術出版会)、「にぎやかな田んぼ」(京都通信社)など。

下の写真は2020年11月29日、夢洲2区。埋め立て工事が急ピッチで進んでいる。この上に万博パビリオンと円形状観覧プロムナードの建設が予定されている。どんどん狭くなる池にはこの撮影時、水鳥15種1700羽超、特にホシハジロは1200羽がいた。この中州で2020年7月17日、コアジサシの親子を確認している。

